

Title	前嶋信次著「東西文化交流の諸相」 今宮新著「初期日独通交史の研究」
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1971
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.43, No.4 (1971. 5) ,p.88(608)- 88(608)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19710500-0088

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

前嶋信次著 「東西文化交流の諸相」

昭和四十六年三月

A5版 一二二二四頁 七五〇〇円

慶應義塾大学文学部東洋史研究室

「東西文化交流の諸相」刊行会

慶應義塾大学文学部東洋史研究室は、松本信広先生著「東亜民族文化論攷」(品切)に続いて、このたび前嶋先生の定年退職を

記念し、右記の著書を刊行しました。本書は先生の半世紀にも及ばんとする学問業績のなかから、東西文化交流史に関する主要論文三十四篇をえらび、また、本書のため、とくに執筆された研究回顧と示唆にとむ史話など数篇を加え、さらに、約三百五十点の多きをかぞえる著作目録を付した一二〇〇頁を越える大著であります。先生の論稿は文字どおり古今東西の諸史料を縦横に駆使された精華であり、かつ、麗筆をもつていろいろな名文章として、かねてから定評のあるところがありますが、今回、その中から、

とくに力作・珠玉の篇を精選してまとめた本書は、最近の好著であり、斯界に裨益するところが多大であるものと信じます。

今宮 新著 「初期日独通交史の研究」

昭和四十六年二月、鹿島出版会刊行 限定七〇〇部

A5判 口絵二葉

本文一二五一頁、索引一五頁、上製箱入り

本書はプロシヤ王室古文書館に保存されてあつた未刊文書を精査し、それらを駆使して書かれたものである。この分野におけるはじめての本格的研究書で学界から高い評価をもつて迎えられている。内容は、

第一編 序論

第二編 本論

第一章 わが国の開国とプロシヤの動向

第二章 日普条約締結の研究

第三章 プロシヤにおける文久遣欧使節の研究

第三編 結論

付録 アレキサンダー・フォン・シーボルト

ヘンリー・ヒュースケン プロシヤ古文書館

などより成っている。

著者は慶應義塾大学教授として多年、日本政治史、国史学等を講じ、同大学文学部長、日本歴史学協会委員長、三田史学会々長などの要職を歴任し、現在、慶應義塾大学名誉教授、日本古文書学会評議員である。文学博士。